

## 本庄早稲田・リサーチパークニュース 2016. 3

## 第2回全国創業スクール選手権で大賞受賞！



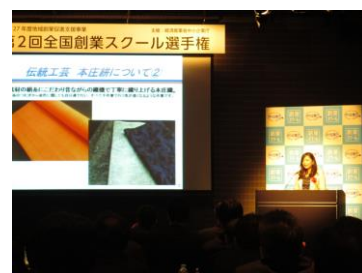
2016年2月24日に「第2回全国創業スクール選手権」（中小企業庁主催）が開催され、全国の創業スクール受講者3,050名の中から、当財団主催「本庄早稲田塾 ゼロから始める創業スクール」から選出した内原さんが「経済産業大臣賞（創業スクール大賞）」を受賞しました。

内原さんのビジネスプランテーマは、「地域の伝統工芸を活かしたBagの企画製造販売」。素材に本庄餅を使ったBagを製造するとともに、伝統工芸体験（織体験）を組み込んだツーリズムや小物製作ワークショップの開催を通じて、地域

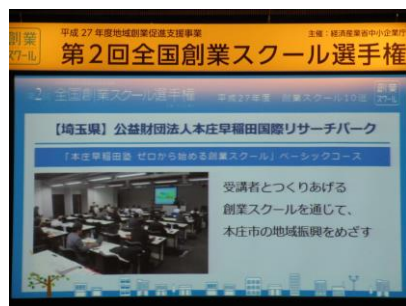
に貢献することを目指しています。

「20代後半から40代の女性をターゲットに、“伝統を持ち歩くという贅沢”をキーワードとしたBagブランドを立ち上げ、世界に誇れる本庄発信のBagブランドに育てていきたい」と力強く話す内原さん。当財団が運営するインキュベーション施設に事務所をおき、2015年10月から個人事業主として活動を開始しています。

Bagについてはホームページをご覧ください。 <http://www.echumichu.com/>



## 財団が「スクール10選」に選出される！



当財団は、地域に根差した創業支援の取組や、カリキュラム策定・講師の選定において、受講者満足度の高い支援を行った実施主体として「創業スクール10選」に選定されました。

「ビジネススクール、インキュベーション施設、経営相談など、財団における既存事業と連携した継続的支援体制を構築していること」、「毎回の講義でアンケートを実施し、その結果を次の講義に反映するなど受講者と一体となったスクール運営を行ったこと」が評価されました。

スクール運営にあたっては、熱心に講義いただいた講師の方々や、体験談を語ってくださった地域の創業者、創業支援情報を提供いただいた日本政策金融公庫熊谷支店及び本庄・深谷・熊谷商工会議所など、多くの方々に協力いただきました。

創業支援はスクール修了後の継続的支援が大切です。スクールを通じて築いた各機関との協力体制を活かして受講生の創業をバックアップしていくとともに、来年度はさらに内容を充実した創業スクールを実施する予定です。



\*本庄早稲田塾-ゼロから始める創業スクールのfacebookページを開設しました\*  
「本庄早稲田塾ゼロから始める創業スクール」で検索できます。

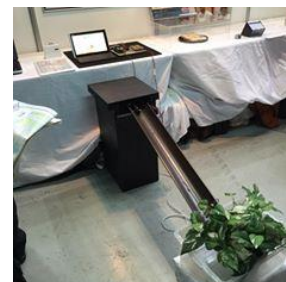
# 本庄早稲田・リサーチパークニュース 2016. 3

## 彩の国ビジネスアリーナ「産学連携フェア 2016」に出展しました

2016年1月27日(水)・28日(木)に行われた、彩の国ビジネスアリーナ2016 併催の産学連携フェアに早稲田大学環境総合研究センターとともに出展しました。

### ★機能性おやつ開発プロジェクト

熊谷の老舗製菓(株)梅林堂によるおやき「菜のまん」を展示するとともに、おやつ開発に奮闘するスタッフの本音インタビューもパネルで紹介しました。



### ★県立児玉白楊高校スマート農業プロジェクト

スマートフォンと連動した植栽への水やりシステム「水やり君」のデモ展示を行いました。ブースを訪問された岩崎副知事にも実際に操作をしていただき、関心を持っていただくことができました。

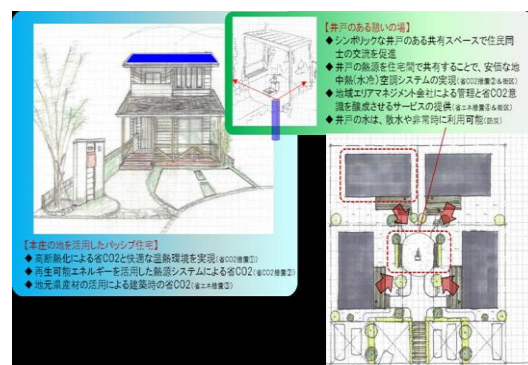
### ★ケイアイスター不動産(株)との産学連携による Made in Honjo スマートハウスプロジェクト

井戸水を用いた地中熱空調システムを、実際に設置されている同様のシステム情報をリアルタイムに表示して紹介しました。高い省エネルギー性能を持つシステムであることをアピールするとともに、地元産木材を用いてエネルギーと原材料の地産地消を進め、CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献するスマートハウスであることを示しました。

井戸を中心とするコミュニティ形成に寄与する街区設計とシステムの管理コストを含めて販売価格を適正価格帯に抑える工夫をこらすことで、住む人の生活の質にも配慮した省エネルギー住宅が、今後、本庄早稲田をモデルとして、各地に誕生していくことが期待されています。

また、早稲田大学環境総合研究センターブースには、究極の省エネルギーともいえる圧縮空気で駆動する空気エンジンを搭載した超軽量小型モビリティ ULV (Ultra Lightweight Vehicle) の実物模型が展示され、多くの来訪者の耳目を集めていました。

財団ブースには2日間でおおよそ百十数名ほどの来訪者が訪れ、事業や成果・今後の取組などをアピールすることができました。



## 本庄早稲田塾 「女性キャリアアップ研修」開催 10月14日(水)

オフィスYS代表の斎藤由紀子先生を講師にお招きして、11社/13名の女性の方々に受講をしていただきました。研修は入社からの振り返りで始まり、求められている役割や仕事の進め方、業務改善とモチベーション、ストレスやコミュニケーションなど、講師が提示したテーマを個人研究で学習した後にグループ討議でまとめ上げて発表する形式で進められ、受講生は熱心に実習されました。最後には、ワークシートを使って現在の自分を分析し、自己を見つめ直して今後どのようにしていったら良いかを個人研究して終了しました。各社多様な業種の方々にご参加いただき、グループでの討議を通して自社や自分では気がつかないこと、他から学ぶことなど、色々なことが吸収できたことと思います。





# 本庄早稲田・リサーチパークニュース 2016. 3

## 第7回 早稲田若手経営者ビジネススクール 11月18日(水)

第7回早稲田若手経営者ビジネススクールでは、日本電鍍株式会社の伊藤社長をゲスト講師にお招きして「中小企業の事業承継」をテーマに講義をしていただきました。

伊藤社長の略歴は、上智大学外国語学部を卒業後フリーランスのDJとしてFMラジオなどで活躍。その後アメリカに留学し、宝石の鑑定士・鑑別士の資格を取得。帰国後の2000年3月日本電鍍株式会社の代表取締役役に就任、当時業績の悪化していた会社を3年で黒字化させ現在に至っています。企業再建で注目されている異色の経歴を持つ経営者です。独自のメッキ技術を開発して高品質を保つ商品の開発とそれを支える従業員への気配り、会社存続のための振る舞いに経営者としての心意気を垣間見た時間でした。



## 第8回 早稲田若手経営者ビジネススクール 1月20日(水)



第8回の早稲田若手経営者ビジネススクールのテーマは「経営戦略と新規事業開発」です。ゲスト講師にダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪貴子さんをお迎えして講義いただきました。諏訪さんは、社長として多忙を極めるなか、年間100回以上の講演をこなし、メディア出演や政府系委員会を務めるスーパー経営者です。

急逝した先代の父から突如継承した町工場。危機的環境からのスタートにも関わらず、原点である超精密加工を貫き治具・ゲージ事業を伸ばして長引く不況・グローバル化に立ち向かう積極的な経営が評価されています。

講演では、先代から受け継いだものづくりへの思いと実践、スピード経営改革、自発性を引き出す徹底した社員とのユニークなコミュニケーション手法等々、3時間みっちり諏訪流経営学を伝授していただきました。

## 第9回「早稲田若手経営者ビジネススクール」 2月17日(水)



第9回早稲田若手経営者ビジネススクールは株式会社浜野製作所の工場にお伺いし、浜野社長をゲスト講師として「不況に負けないチャレンジ精神」をテーマに講義と工場見学でご指導をいただきました。

浜野社長は31歳の時、他界した創業者の父の会社を引き継いで1993年に社長に就任。奥様と従業員一人からスタートしたが、2000年に近隣の火災によるもらい火で本社兼工場が全焼。しかし持ち前のバイタリティーで直ぐに仮工場を手配して事業を再開。その後「おもてなしの心」「スピード・実行・継続」をキーワードにして、常に新しい「物作り」にチャレンジし続け、現在は従業員35名の会社に成長しています。

地元墨田区を中心とした地域経済活性化や環境問題への取り組みなど、地域社会に密着した活動も行っており、浜野プロジェクトとして、「電気自動車HOKUSA I」「配財プロジェクト」「アウトオブキザニア」「江戸っ子1号プロジェクト」などを展開。

また、ものづくりの総合支援施設「ガレージスマダ」を立ち上げて、様々なコラボレーションを発信し続けています。



**2016年度「WASEDAビジネスリーダースクール」受講生募集中です！詳しくは財団HPをご覧ください！**

# 本庄早稲田・リサーチパークニュース 2016. 3

## 里山塾 2015

### 第5回 10月24日(土)

最初に当財団専務理事の荒川正夫氏より『大久保山の歴史』というテーマで講義をしていただきました。古いものは縄文時代の頃の遺物が久保山から出土しており当時の人々の生活様式など学ぶことができました。現在里山として親しまれている大久保山が1万年以上前からこの土地にあるんだと思うと大変興味深かったです。講義の後は古墳や考古学資料館の見学もおこないました。

その後は6月の里山塾の際に植えたサツマイモ掘りをおこないました。昨年は41kgほどでしたが、今年は20kg近く多い61.6kg収穫することができました。今年、雨が多かったり猛暑だったり心配していましたがたくさん収穫できて良かったです。参加者の方からは本庄の成り立ちに大久保山が果たした役割を再認識できました。「想定していたより多くのイモが収穫できて良かった」等の感想をいただきました。



### 第6回 11月14日(土)



当日はあいにくのお天気でしたが、20名近くの方々に参加いただき、約1時間半かけて自然薯掘りを行いました。掘り方のレクチャーを受け、実際掘ってみると、1メートルもありそうなものはほとんど見つけられず、10cm~30cm程度のものが多かった。最後まで折らずに掘る事はとても難しく、途中で折れてしまいました。掘った後はすり鉢ですって食べました。味はとても美味しかったです。参加者の方からは、「自然薯掘りは初めての体験だったので大変でした。とても良い体験でした」「自然の恵みをいただくのは簡単でないと感じました」「ヤマノイモの繁殖方法がいくつかあり、興味深かった」等の感想をいただきました。

### 第7回 2月12日(土)

今回の『落ち葉かき』は、公開講座として地域住民の方にも広報し、48名の方にご参加いただきました。当日は天候にも恵まれ、皆様のご協力のおかげで、1時間ほどできれいになりました。小さいお子さんや、小中学生にも多くご参加いただき、楽しい声があふれる里山塾となりました。

参加者からは、「落ち葉かきの重要性がわかった」「みんなで協力した落ち葉かきはとても楽しかった」等、楽しく学び、いい汗を流せたとおっしゃっていただきました。また小学生からは「里山塾に参加している大人の人の人にほめてもらったり教えてもらってよかった」「カブトムシの幼虫がみつかったよ」と声を寄せていただきました。



### 第8回 1月16日(土)



今年度最後の里山塾では1年間を振り返った発表と大久保山散策を行いました。参加者の方からはこんなに近くに森があり大切に守られていることに気付くことができ良かったと思います。緑を大切にすること、里山を大切にすることが私達のためによりよい生活のために大切な事だと思いました。先生の講義を受講し「自然」に対する見方が変わりました。等たくさんのご感想をいただきました。

また当日は大堀先生から参加者全員に修了証書授与も行われました。各回を通して多くの皆様にご参加いただき里山の保全や活用についてご理解を深めていただけたこと共に楽しく交流が持てた事、小中学生の皆さんにも参加していただけた事、大変うれしく思います。

**4月1日から里山塾2016募集します！年間スケジュール、各回テーマ等は財団HPでご確認ください！**

#### イベントカレンダー

■3/12(土) 『川のシンポジウム 2016』

■4/30(土) 里山塾番外編 春の散歩(市民)大久保山散策』

■5/14(土) 地域の医療と健康を考える会 講演会

■5/21(土) 里山塾第一回

※詳細はホームページをご覧ください。